

人権ポスター・標語作品



思いやりの気持ちが込められたあたたかい作品をありがとうございました。作品を鑑賞された方は、改めて人権の大切さを考えてくださると思います。



連島中学校 一年 藤田 紗矢香



連島中学校 一年 十河 愛奈



連島中学校 一年 宇都宮 一花



連島中学校 一年 三神 里花子

● 連島中学校

その笑顔 本物なのか 考えて
連島中学校 一年 伊藤 美海

悪口は 自分の心を 黒くする
連島中学校 二年 近藤 優奈

友だちは 相手と自分の 宝物
連島中学校 二年 山下 愛裡

気づいたら 私の心は 雨模様
連島中学校 三年 平野 紗都



連島神亀小学校 二年 加藤 仁菜



連島神亀小学校 三年 藤原 早蘭



連島神亀小学校 六年 操 晴花



連島神亀小学校 六年 田代 有咲

● 連島神亀小学校

軽はずみ 忘れちゃだめだよ 相手の心だよ
連島神亀小学校 六年 二組 名前徳久陽愛

いい気持ち 心の根っこ
連島神亀小学校 四年 二組 名前小川睡希

はなしてよ きみの心を はれやかに
連島神亀小学校 四年 一組 名前西心春

みんななかよく
連島神亀小学校 一年 一組 名前あざもも



連島西浦小学校 四年 原 功輝



連島西浦小学校 一年 藤井 伊織



連島西浦小学校 五年 長畑 弦助



連島西浦小学校 六年 三宅 桃加

● 連島西浦小学校

人権標語 とほまっよう 笑顔の風船 全育で
五 一 二 萩野 心希

人権標語 天のさす 救のさす 救のさす 救のさす
四 一 二 三宅 桃加

人権標語 ただっ 自分のこせいに 大切に
五 一 二 三宅 桃加

じんけんひょうご ありがとう みんななかよし てはつなご
五 一 二 三宅 桃加



連島東小学校 一年 田鶴原 凛



連島東小学校 二年 赤澤 ほのか

● 連島東小学校

比べるな あなたと私 それぞれの個性
六年 一組 吉岡さくら

大丈夫 自分らしくって いいたよ
五年 二組 加藤 隼聖

こせいで き なんてすてきな ことなんだ
五年 二組 森田 陽太

ともだちっていい だけじゃ じゃあだよ
えびだよ
一組 一組 名前あざもも



連島東小学校 四年 平間 美晴



連島東小学校 五年 小林 涉

広報紙「連の和」は、愛育委員の皆さまのご協力により連島中学校区全戸に配布しています。

あなたの地域の人権だより

思いやり
みんなでつくり
明るい未来



連の和

第 48 号

令和6年3月1日発行

連島中学校区人権学習推進委員会

事務局 連島公民館

TEL/FAX:086-448-0655

E-mail: ph-tsuraajima@kurashiki-oky.ed.jp

6/6 (火) 人権学習推進委員会総会

連島公民館において、令和5年度連島中学校区人権学習推進委員会総会を開催し、令和4年度事業報告・令和5年度事業計画や予算の審議を行いました。「思いやり みんなでつくり 明るい未来」を連島中学校区のテーマに、「明るいあいさつ つなぐ地域の輪」を重点課題に、「人権活動への積極的な参加」を目標に掲げ、今年度がスタートしました。



12/3 (日) 人権ふれあい研修会



連島中学校区人権学習推進委員会主催の人権ふれあい研修会を連島公民館で開催し、85名が参加しました。人権ポスター・標語を出品して下さった皆さんの表彰式を行い、三宅勝会長から感謝状と記念品が贈呈されました。その後、受賞者の皆さんは人権学習推進委員の方と防災カードゲーム「なまずの学校」をしました。地震や津波による様々なトラブルに対して役に立つアイテムを考えるカードゲームです。道路や建物が壊れて車が通れなかったり、助けを求める人がたくさんいたりするなど、困った状況を解決できるカードを選び、いろいろな考えや対応がどんどん発表されました。発表のたびに拍手で祝福するあたたかな雰囲気の中、推進委員の方々とふれあいながら和やかな研修会となりました。

※人権ポスター・標語作品は、広報紙の裏面に掲載しています。ポケットティッシュにして人権啓発活動に使わせていただきました。



※受賞者と人権学習推進委員の皆さん

すばらしい作品をありがとうございました。



皆さんのあたたかい思いやりの心が地域に広がりました♪



連島神亀小学校 一年 拜地 健太郎

倉敷市人権ポスター展において、連島中学校区から拜地 健太郎さんが優秀に選ばれ、十二月四日から二十日までの人権週間に倉敷市立美術館に作品が展示されました。



いい考えだね!



連島公民館の一階ロビーに人権ポスター・標語、人権啓発マスコットキャラクター「れんちゃん」のぬり絵を展示しました。そのま保育園・連島こども園・連島東保育園・連島西浦幼稚園・連島東幼稚園の年長さん約百名のぬり絵が集まりました。



講師 俳優・介護福祉士・
「老いと演劇」OibokkeShi主宰
菅原 直樹 氏



認知症の方にどのように関わればよいのかということ、ワークショップや演劇のお話、看板俳優である岡田忠雄さんご夫妻の実生活の映像紹介などを通して、わかりやすく教えていただきました。yes and (イエス アンド) ゲームでは、介護される側の言動を介護者が「イエス」「それで」と受け入れながらコミュニケーションをとっていき劇をしました。自分の都合はいったんおいて、その認知症の方の言動を正すことよりも否定せずに寄り添う心で受け入れて会話を続けてみる必要があるということでした。とてもわかりやすいけれど難しいことでもあり、また、日常生活の中にもたびたび見られる場面だと思います。人との接し方や意識のちがいは、人権を大切にすることを視点からすると介護に携わる方だけでなく、子どもたちを含めたすべての人々にとって必要なことだと感じました。

〈参加者の感想〉

- 認知症の人を受け入れる方法を芝居を通して教えてくださいました。母を五年ほど看ましたが、これを知っていたらもっと違った接し方ができたのかと涙が止まりませんでした。
- 必ずやる老いに自分はどう向き合うかを考えさせられました。
- ここ数か月前から夫の調子が悪く、まさに自分に教えられていたように感じました。少しでも言動を受け入れることができたか、と思います。講演会に参加できて良かったです。
- 認知症だった父の言うことを母は否定しながら生活していました。自分だったらどうできるか、お話を聞きながら考えさせられました。
- 人は役割があるから輝ける人は誰かのために生きようと思うのかなと感じました。否定しない、受け入れる、寄り添うことはコミュニケーションをとる上で大切だと思いました。「今、この瞬間を楽しむ」を大切にします。



▲菅原直樹氏による講演

講師 矢部 啓一 氏

「都羅」の面を歩こうに参加して

毎年恒例となりました連島中学校区人権学習推進事業の一つである「都羅の小径歴史探訪」が西浦コミュニティ協議会と共同開催で、10月29日に参加者37名を集め、開催されました。本年度は、「『都羅』の面を歩こう」と題し、地元連島西浦小学校区の第1〜3明神、籠取神社、旧中山家住宅のコースで連島公民館から毎年講師でお世話になっている矢部啓一さんを先頭に出発しました。

第1から第3明神は連島西浦小学校西門の近郊にあり、矢部さんより由来など丁寧な説明をして頂き、地元の歴史を改めて興味深く聞くことができました。

籠取神社へ上る坂道や階段では、皆さんいろいろな話をし、時折、休憩もはさみながらゆっくりと歩を進めていきました。籠取神社では岡部宮司から神社についてユーモアを交えた説明をお聞きました。その後、参拝させていただき、回廊をゆっくり歩きながら連島の街並みを眼下に階段を下り、西町地区の連島街道を旧中山家住宅へ向けて進みました。

旧中山家住宅は2018年に国の有形文化財に登録された由緒ある建物です。約100年前に中山説太郎氏が建てた武家屋敷風住宅であり、ご承知の通り、昨年3月より一部建物が一般公開されるようになりました。今回はこの旧中山家住宅の長屋門前にて中山説太郎氏に関わるお話、この住宅を建てられた経緯などをお聞きました。この連島の地で生まれ、のちに明治から昭和にかけ、財界で活躍された説太郎氏のお話はこの地で生まれ育った参加者の皆さんでさえ知らなかったことが多くありました。(私自身も詳しいお話を聞いたのは初めて) 一般公開を機に、この旧中山家住宅ではいろいろな催しも開催されています。皆さんも連島出身で財界で活躍された中山説太郎氏が建てられた住宅を一度訪れてみては如何でしょうか?長屋門や武家屋敷風の母屋など貴重な建物が見られると思います。

連島中学校区人権学習推進委員会 会長 三宅 勝



籠取神社

▲三明神 (子守社)

▲二明神 (玉取社)

▲旧中山家住宅

▲籠取神社

▲一明神 (玉姫玉取社)

今年度は、「戦争と命の尊厳について考える」というテーマのもと、人権学習推進委員を中心に24名が参加し、福山市内の施設を訪問しました。ホロコースト記念館では、改めて戦争の悲惨さや生命の尊厳というものを実感しました。ユダヤ人というだけで600万人がガス室に送られ、そのうち150万人が子どもであったという史実は、何度聞いても戦慄を覚えます。「なぜ人間は、おたがい仲よく、平和に暮らせないのだろう」というアンネの言葉は、平和を希求する心の叫びとしてずっしりと重く、我々や次世代への永遠のメッセージであり、大きな課題だと思います。また、福山市人権平和資料館では、人権部門と平和部門に分かれて展示され、特に福山空襲の「母子三人像」の話では我が子を必死に守ろうとする母親の姿が心に焼きつきました。今回の研修から生命と人権を守り、決してあやまちをくり返さず、差別や戦争のない平和な暮らしをという思いと、それを子どもたちに伝えていかなければという思いが増しました。



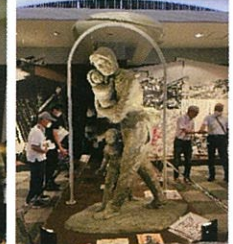
ホロコースト記念館



※「ホロコースト」とは、ナチス・ドイツによるユダヤ人の大量虐殺を意味するそうです。



連島神亀小学校 校長 洲脇 寛之



福山市戦災死没者慰霊の像 (母子三人像)

学校園だより (人権の取組)



● 連島中学校

本校では年2回人権週間を実施しています。

6月はテーマを「思いやり」とし、good behaviorカードを用いて、友だちの良いところを伝え合いました。学活の時間では、「人権すごろく」を実施し、質問を通して、人権や思いやりについて考えました。

12月はテーマを「幸せ」とし、生徒会が「幸せ宣言」と「ありがとうカード」の取組を考えました。「幸せ宣言」は、友だちと幸せに過ごしていくために、一人ひとり宣言をし、いくつかの宣言を生徒会通信で紹介しました。自他の幸せについて考えることができました。



● 連島こども園

冬の寒さに負けず、戸外で元気いっぱいお餅つきをしました。年長児は杵を持って息を合わせてつくことで、協力し合う喜びを感じることができました。乳児クラスも杵でつく姿を見たり、餅をつく音を聞いたりと園全体で取り組んだ楽しい行事となりました。



よいしょ、よいしょ…!

● 連島西浦小学校

「人権週間での取組」

本校では、「人権意識を高め、望ましい人間関係の育成を図る」ことをねらいとして、6月と12月の年2回、なかよし週間を実施しています。12月のなかよし週間では、1学期に取り組んだ『よいところ見つけ』を学級から全校へと範囲を広げ、『いいこと郵便』に取り組み、『西浦っ子のステ木』にハートをためていきました。『いいこと郵便』には、学級内だけでなく、なかよし班活動や様々な学校生活において他学年の友達にも目を向け、「いいな。」「がんばっているな。」といったことをカードに書いていきました。ハートがたくさん増え、西浦っ子の思いやりがたくさんつまった『ステ木』ができました。



● のぞみ保育園

落ち葉祭りをしました。「みんなで集めた落ち葉やドングリの実を使って、地域の高齢者の方と一緒に、お面や壁飾りを作ったよ。」



おじいちゃんせんせい
おばあちゃんせんせい
ありがとうございました。

すてきなさくひんが
できました♪